

各位

会社名 ザインエレクトロニクス株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 南 洋 一 郎
(スタンダード・コード番号：6769)
問い合わせ先 取締役総務部長 山本 武 男
電話番号 03-5217-6660

Raspberry Pi 最新カメラに対応したカメラ画像長距離伝送キット提供開始のお知らせ

～AI/IoT ビジョンシステム、医療用カメラ、AR/VR、ドローン、監視カメラ等の開発に貢献～

THine グループは、高速インターフェース・画像処理技術の分野で世界をリードする LSI 事業と AI・IoT の分野で知的財産を創出し様々なソリューションを提供する AIOT 事業との2つの事業を柱として事業を展開していますが、この度、世界で人気のあるシングルボードコンピュータである Raspberry Pi と最新カメラモジュールにも対応したカメラ画像長距離伝送キット THSER102 を全世界に向けて提供開始いたしましたので、お知らせします。

今回提供開始したカメラ画像長距離伝送キット THSER102 は、Raspberry Pi の最新カメラモジュール V3 (1200 万画素オートフォーカス対応)と最新の Raspberry Pi5 (2カメラ入力付高性能機種)のほか、Pi0、Pi0W2、Pi3B、Pi3B+、Pi4B など従前の Raspberry Pi カメラや従来の本体機種にも対応しています。移動体撮影に優れたグローバルシャッターカメラに対応するアップグレード用のファームウェアもリリースする予定です。

Raspberry Pi カメラモジュールのユーザーはカメラと本体を接続する際、15～20cm の短いケーブル (FFC：フラットフレキシブルケーブル) を用いることが一般的でありカメラと本体の配置が制約されますが、本キット使用により、標準的な LAN ケーブルで 10m 以上離れたカメラであっても、全く同じパフォーマンスでの画像の長距離伝送が可能となります。

さらに、THSER102 は、HAT(Hardware Attached on Top) on HAT と 3 チャンネル GPIO 延長が可能です。例えば、他の HAT ボードと THSER102 を同時に使用したり、GPIO 通信を延長することでカメラモジュールのジンバル制御をしたり、高度なアプリケーションをサポートすることができます。

Raspberry Pi コミュニティから前モデル THSER101 に寄せられたフィードバックにより、THSER102 は、多様なアプリケーションに貢献する特長を実現しました。ユーザーエクスペリエンス最適化のために、当社独自の高速情報伝送技術 V-by-One® HS 製品を活用しつつ、その性能を最大限引き出したキットとなりました。



THSER102

THSER102 の主な特長

- Raspberry Pi 4 Model B、その他 Raspberry Pi ボードを含む旧機種に加え、Raspberry Pi 5 に対応
- V2 および HQ を含む従前カメラモジュールに加え、Raspberry Pi カメラモジュール 3 に対応
- 標準 LAN ケーブルで 10m 以上の延長が可能
- Plug & Play：使用開始に必要な全てのハードウェアを内蔵し、ソフトウェア設定不要
- 高度なアプリケーションをサポート
 - HAT on HAT
 - 3ch GPIO 拡張

発売時期・入手方法

THSER102 は、現在 Digi-Key などでご入手可能です。

- [Digi-Key] <https://www.digikey.jp/ja/products/detail/thine-solutions-inc/THSER102/21777856>

ご注意:本文中における各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。

<報道機関各位からのお問い合わせ先>

ザインエレクトロニクス株式会社 取締役総務部長 山本武男
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 9-1 JRE 神田小川町ビル 3F
TEL 03-5217-6660 FAX 03-5217-6668
URL : <https://www.thine.co.jp> E-mail : investors@thine.co.jp

<お客様各位からのお問い合わせ先>

ザインエレクトロニクス株式会社営業部 ([お問合せフォーム](#))